

## 「ビジョン」という語の意味

本検討会で「ビジョン」という言葉を用いる場合、

「(実現したい望ましい)将来の社会像・環境像」  
「 を実現するまでに生じる社会・経済・環境の変化の過程」  
「 の実現に必要なとなる政策実施の道筋」  
といった幅広い内容を意味するものとするを基本としたい。

のみを指して「ビジョン」と言うこともある。これのみを区別して言う場合例えば「着地点」あるいは「目的地」と呼んではどうか？

のような過程(道筋)を主に念頭に置きつつ までを含めて「シナリオ」と呼ぶこともある。

のような過程(道筋)のみを指して「シナリオ」と呼ぶこともある。これのみを区別して言う場合例えば「飛行経路」あるいは「ロードマップ」と呼んではどうか？

1

## ビジョン検討の要素

社会経済の大きなトレンド(Driving force):

世界(とくにアジア、さらにとくに中国)および国内(地域類型、少なくとも都市、地方別にとらえる必要)



そのトレンドのもとで予想されるunsustainableな(避けるべき)問題



そうした問題を回避しながら、(あるいはそうした問題のあるなしにかかわらず)「実現したい望ましい将来の社会像・環境像」



望ましい将来に向けて現在・近未来に着手すべき課題



それを実行するための政策手段

2

# ビジョン作成のフレーム

(1) 12の視点を出発点とした課題の検討整理

(2) ビジョン作成のフレーム

各主要課題ごとに目標となる状態(「課題別目標」または「課題別着地点」)を設定する。(必要に応じ複数設定)

各主要課題の目標設定のすべてを総合的に満たしうる目指すべき社会像(社会の着地点)を設定する。(必要に応じ複数設定)

設定した目指すべき社会像を実現するための飛行経路(狭義のシナリオ)を作成する(一つの社会像に対して1または必要に応じ複数)

注 フォアキャストによる展望を行った上で、ビジョンに対するバックキャストの検討を行う(「ビジョン検討の要素」参照)  
時点 2050年(2025年等その他の年次についても必要に応じ対象とする)  
対象地域:日本中心、関連してアジア、世界の動向  
検討するドライビングフォースの例:人口、経済、資源(石油、レアメタル)、技術革新、エネルギー政策

(3) 手順 「ビジョン検討の要素」参照

(4) 定性的シナリオ、定量的シナリオ

定性シナリオ(ストーリーライン):こちらを先行して作成

定量シナリオ(モデル等でバックアップ):定性シナリオ作成の後にモデル等を使用した定量的な分析で強化

3

## 委員の先生方へのお願い

2050年を展望したトレンド(予測)  
2050年を展望したときの課題、トレンド  
の変動要因  
2050年のビジョン、それに向けて必要な対応

検討の範囲等(案)

- ・検討全体の主対象は、資源・環境を中心とした日本社会の持続可能性についてである。
- ・それに深く関わる世界全体の持続可能性を視野に入れて検討する。
- ・狭義の資源・環境以外の関係の深い関連分野を視野に入れて検討する。

4